

自動車盗難対策セミナーをオンラインで開催

～自動車盗難多発県を有する関東支部と中部支部で初めての合同開催～

日本損害保険協会関東支部委員会（委員長：本橋 伸二・三井住友海上火災保険株式会社 コンプライアンス部 地域コンプライアンス部長）と中部支部委員会（委員長：渡辺 一奈・三井住友海上火災保険株式会社 執行役員）では、2026 年 3 月 4 日（水）に、損害保険会社社員、自動車盗難等防止協議会会員等を対象に、自動車盗難の実態と効果的な対策に関するセミナーをオンラインで開催し、163 名の参加がありました。

自動車盗難認知件数は 2003 年をピークに減少傾向にありましたが、2022 年から再び増加に転じ、2025 年の全国の盗難認知件数は、6,386 件と前年の 6,080 件から 5%増となっています。都道府県別の盗難認知件数では、愛知県が 1,051 件でワースト 1 位、次いで埼玉県が 756 件となっており、10 位までに関東支部管内の 6 県、中部支部管内の 3 県がランクインしています。盗難に係る手口も年々巧妙かつ複雑になっており、今回のセミナーは、このような深刻な現状を踏まえ、参加者が盗難手口の実情を学び、防犯意識の向上および対策強化を目的として、当協会 関東支部と中部支部が合同で初めて開催したものです。

開会に先立ち、当協会 渡辺 一奈中部支部委員長から「対策意識を高め、実効性のある防止策を講じるきっかけにしてほしい」として開会の挨拶がありました。

第 1 部では、愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課 山田 幸司課長補佐から「自動車盗難の現状」について講演がありました。第 2 部では、千葉県警察本部刑事部捜査第三課 村永 充課長補佐から「盗難車両の流通経路を遮断する最新対策等」をテーマに講演がありました。第 3 部では、「最新の自動車盗難手口シミュレーションとその対策」と題して、脇田ボデー工業株式会社・自動車盗難対策室 有馬 裕介室長から自動車盗難の手口の実演があり、自動車盗難対策機器メーカーの加藤電機株式会社 加藤 学社長から、手口の解説と効果的な対策の説明がありました。続く第 4 部では、当協会 関東支部、中部支部の両事務局から 2025 年度の活動状況について報告がありました。

最後に、当協会 常松 謙哉関東支部東京自動車損害サービス部会長（三井住友海上火災保険株式会社 理事東京自動車損害サポート部長）から、閉会挨拶としてセミナーの振り返りがあり、盛況のうちに会が終了しました。

参加者アンケートでは、「1 分もかからないくらいの短時間で解錠されてしまうことに驚いた。」「複数の対策が必要だと感じた。」等の感想が寄せられました。

当協会 関東支部・中部支部では引き続き、関係団体と連携し、自動車盗難防止対策の周知と自動車盗難件数の減少に向けた活動を推進していきます。



開会挨拶 中部支部渡辺委員長



第 1 部 愛知県警・山田課長補佐



第 2 部 千葉県警・村永課長補佐



第3部 脇田ボデー工業の
有馬室長による実演



第3部 解説をする加藤社長



閉会挨拶 関東支部東京自動車
損害サービス部会 常松部会長